

THE KANSAI UNIVERSITY NEWS

関西大学通信

関西大学広報委員会 大阪府吹田市山手町3丁目

図書館事情余滴

図書館長 名取 栄史

丸善から出版されている「世界この図書館の敷地面積は約二万平方メートル...」

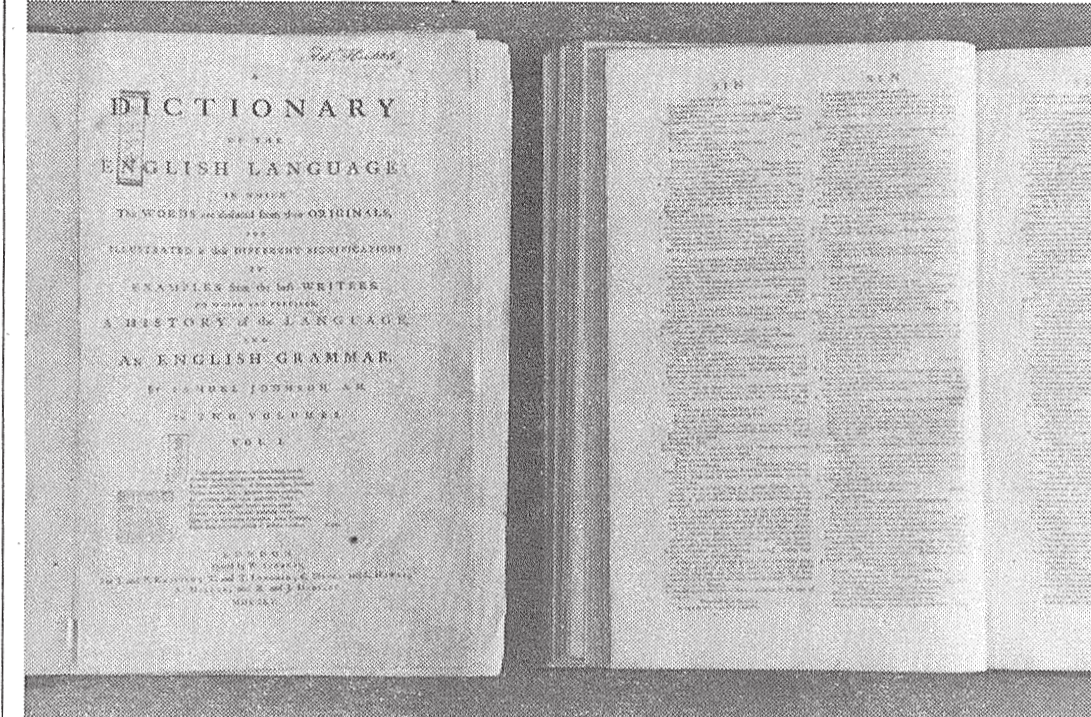
この図書館の敷地面積は約二万平方メートル、ナナなどのための千五百席のホール及びライオン学研究のための特別ホールとがある。...

教育・研究の中枢

書物と人間の語り合いの場

かした構造となり運営されている。たとえば、図書資料の集中ということがある。...

また相互利用関係にある他大学、他研究機関の研究者、学生の利用に供されている。...



S. ジョンソン英語辞典 2巻 1755年(関西大学細江文庫蔵)

昭和五十年六月、関学学長に就任された久保芳和教授が「関西大学図書館報」に「図書館に対する私の注文」という一文を寄せられた六つの注文を挙げられる。...

「関西大学通信」一四九号に寄せられた先生方の図書館理想、図

得ている故に高望である。最近、地域の一般市民が大学にたいして期待を寄せている。...

出を判断した上で規程に従った利用が許されるという手順をふむ。...

「外国語を知らない者は自国語について何も知らない」と言っていたゲートは、希望松英伊の五か国語に精通し、晩年にはハブライ語をも学んでいる。...

昭和61年度入学願書を発売

昭和六十一年度の入学試験要項(願書)六五〇円(送料共一、〇〇〇円)を発売中。...

合格発表表 全学部(第一部・第二部) 二月一日(土) 法学部 二月十二日(水) 十一月十一日(水)...

本号の内容

- 第一面 図書館事情 余滴 昭和61年度入学願書を発売 千里眼 第二面 人事異動 三宅川正名教授に贈る四等瑞宝章 熊谷尚夫元経済学部教授に贈る三等旭日瑞宝章...

対して私たち職員がなしている最も大切なことはなにか。 (文学部教授) 俗に poly-glotte(数か国語に通じた人) 博識家と呼ばれる人がいる。...

学生情報

三宅川正名 著者に謝意
に熟四瑞端玉章
三宅川正名 著者の謝意
三宅川正名 著者の謝意

熊谷尚元 著者に謝意
に熟四瑞端玉章
熊谷尚元 著者の謝意
熊谷尚元 著者の謝意

人事異動
十一月一日付で新設職員の
人事異動



最先端技術に驚きと深い関心
最先端技術に驚きと深い関心
最先端技術に驚きと深い関心

日本事情見学会
日本事情見学会
日本事情見学会

毎日出版文化賞 特別賞を受賞
毎日出版文化賞 特別賞を受賞
毎日出版文化賞 特別賞を受賞

黒菱山の家で滑ろう!
黒菱山の家で滑ろう!
黒菱山の家で滑ろう!

国家試験の合格者決まる
国家試験の合格者決まる
国家試験の合格者決まる

講演会
講演会
講演会

実態調査に協力を
実態調査に協力を
実態調査に協力を

学会
学会
学会

総合コース「部落解放論」

後期特別講座

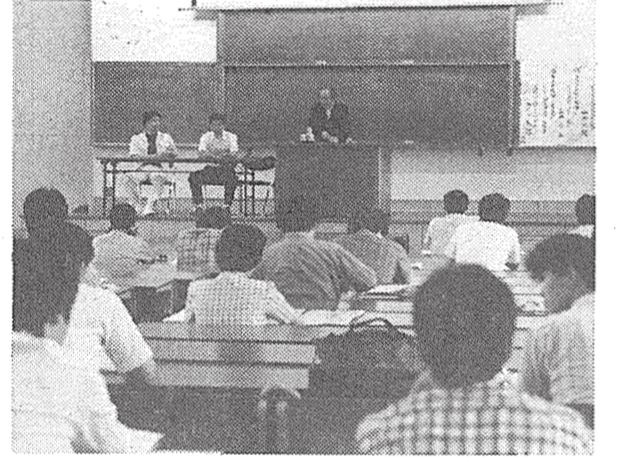
昭和60年度総合コース「部落解放論」
後期特別講座
1.日時 第1部 12月6日(金) 13時~16時
第2部 12月6日(金) 18時~21時
2.場所 第1部 千里山第2学舎 C304教室
第2部 天六学舎 312教室
3.テーマ 「被差別体験と解放の主体」
総合コース「部落解放論」テーマ代表者 竹内 良知
〇講師 文学部教授 滝尾 英二
〇講師 文学部教授 谷口 修太郎



被差別体験と私の自覚

滝尾 英二

一九三三年生まれの私は、今年で四十七歳になります。この道半世紀になります。三、四十歳の頃、大阪府の千里山にあり、大阪府立第一高等学校に入学しました。その頃、私は「被差別者」であるという自覚を持って生きていました。...



6月に行われた総合コース「部落解放論」前期特別講座

被差別体験と解放の主体

谷口 修太郎



「被差別者」の自覚は、解放の主体となる。被差別者としての自覚は、解放の主体となる。被差別者としての自覚は、解放の主体となる。...

被差別者としての自覚は、解放の主体となる。被差別者としての自覚は、解放の主体となる。被差別者としての自覚は、解放の主体となる。...

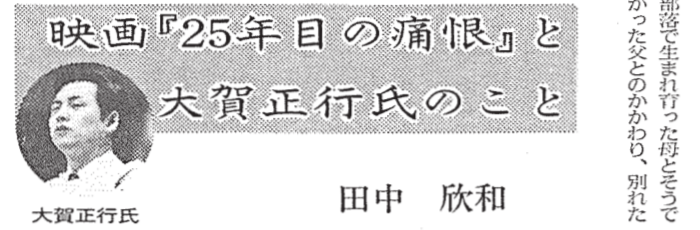
矢口・大塚論争

加勢田 博

矢口・大塚論争の中心は、被差別者としての自覚と解放の主体に関するものである。矢口・大塚論争の中心は、被差別者としての自覚と解放の主体に関するものである。...

人権問題に関する

二十五年目の節目は、部落解放運動の指導者「第一人者」大賀正行氏を顕彰する。大賀氏は、戦中から戦後にかけて、戦後民主主義の確立に貢献した。大賀氏は、戦中から戦後にかけて、戦後民主主義の確立に貢献した。大賀氏は、戦中から戦後にかけて、戦後民主主義の確立に貢献した。



映画『25年目の痛恨』と大賀正行氏のこと

大賀正行氏

田中 欣和

大賀正行氏は、戦中から戦後にかけて、戦後民主主義の確立に貢献した。大賀氏は、戦中から戦後にかけて、戦後民主主義の確立に貢献した。

この映画は、大賀正行氏の生涯を追ったものである。大賀氏は、戦中から戦後にかけて、戦後民主主義の確立に貢献した。大賀氏は、戦中から戦後にかけて、戦後民主主義の確立に貢献した。

大賀正行氏は、戦中から戦後にかけて、戦後民主主義の確立に貢献した。大賀氏は、戦中から戦後にかけて、戦後民主主義の確立に貢献した。大賀氏は、戦中から戦後にかけて、戦後民主主義の確立に貢献した。

大賀正行氏は、戦中から戦後にかけて、戦後民主主義の確立に貢献した。大賀氏は、戦中から戦後にかけて、戦後民主主義の確立に貢献した。大賀氏は、戦中から戦後にかけて、戦後民主主義の確立に貢献した。

大賀正行氏は、戦中から戦後にかけて、戦後民主主義の確立に貢献した。大賀氏は、戦中から戦後にかけて、戦後民主主義の確立に貢献した。大賀氏は、戦中から戦後にかけて、戦後民主主義の確立に貢献した。

大賀正行氏は、戦中から戦後にかけて、戦後民主主義の確立に貢献した。大賀氏は、戦中から戦後にかけて、戦後民主主義の確立に貢献した。大賀氏は、戦中から戦後にかけて、戦後民主主義の確立に貢献した。

連続講演会

本年は、人権問題に関する連続講演会を開催する。講演者は、各界の著名な人権問題研究家である。

期日	場	時	講者	題目
12月3日(火)	千里山学舎 第2学舎(経商)2号館 C304教室	13時~15時	野球評論家 張本 勲	「私の野球人生」 野球評論家 張本 勲
12月4日(水)	第1学舎(法文)1号館D教室 C304教室	13時~15時	大阪府部落解放研究所理事 大阪府立大学講師 大賀 正行	「25年目の痛恨」 大阪府部落解放研究所理事 大阪府立大学講師 大賀 正行
12月6日(金)	第2学舎(経商)2号館 C304教室	13時~16時	昭和60年度 総合コース	「部落解放論」 後期特別講座 講師及び演題: (1)「被差別体験と私の自覚」 英二 広島県立図書館主監 滝尾 義二 (2)「被差別体験と解放の主体」 総合コース「部落解放論」 担 当 人権問題研究室研究員 谷口修太郎
12月9日(月)	第1学舎(法文)1号館D教室 C304教室	13時~15時	ウィーン大学日本学研究所員 金子 マーティン	「ヨーロッパの少数民族問題と日本の部落問題」 ウィーン大学日本学研究所員 金子 マーティン
12月10日(火)	第2学舎(経商)2号館 C304教室	13時~15時	法学部教授 竹本 正幸	「人権をめぐる国連の役割」 法学部教授 竹本 正幸

連続講演会の詳細情報。講演内容は、人権問題に関する最新の研究成果と実践的な課題について議論する。

張本勲氏の 野球と人生と

張本勲氏は、プロ野球界の巨匠として知られる。彼の野球人生と人間性について考察する。

張本勲氏の野球人生は、激動の時代を生き抜いた。彼の精神世界と人間性を探究する。

張本勲氏は、選手としてのキャリアだけでなく、社会活動にも積極的に関与した。



名スラッガーとして鳴らした現役時代の張本勲氏 (日刊スポーツ新聞社提供)

張本勲氏の野球人生と人間性について、さらに詳しく考察する。彼のリーダーシップとチームへの貢献について触れる。



図書室への招待



レファレンス・サービスの受付は飛躍的に増加してきている

書庫よりにも紹介したように、版目録、国立国会図書館と大塚博
学部生専用のスペースとして
は、二階に開架閲覧室を設け、学
習基本図書を中心に基礎専門書、
教養書、雑誌、参考図書などを備
え付けている。しかし、学生諸君
がレポートや卒論の作成のため
に、あるいはゼミでの学習のため

に、さらに高度の文献情報が必要
としたとき、そのニーズに応
え得るものとして、このレファレ
ンス室を開設したのである。
開館後六月余を経、利用者
も新しい環境に馴染み、落着きを
みせてはきたが、ここに改めてレ
ファレンス室に備え付けられてい
る資料の概要とその利用につい
て、簡単に述べ、学生諸君の一層
の活用を期待したい。

レファレンス・サービスの受付は飛躍的に増加してきている

レファレンス・サービスは、各種
委員会の報告や関連資料が排架さ
れている。総合図書館は、駐日E
C委員会からEC資料センターの
指定を受けているので、これらの
資料は、学外の利用者にも広く公
開し、レファレンス・サービスに
も対応している。

レファレンス・カウンターでは
これらの参考図書と図書館のもの機
能をフルに活用して、概ね次のよ
うな業務を行っている。特定主題
に関する文献調査、所在調査、図
書館間相互利用協定に基づく紹介
状の発行や文献入手サービス、情
報検索（IR）必要な情報を外部
のデータベースから端末装置を
操作して、オンラインで取り寄せ

だろつが、平素から冊子目録やカ
ード目録になれ親しむことが大切
である。また、授業中に先生から
受けた指示によって特定の文献を
さがす場合は、必ず正確な情報を
とくに著者、書名、巻号、出版者
出版年などをメモしておくこと
である。雑誌の巻号が不明である
例えは、雑誌の巻号が不明である
内紙の縮刷版約三カ年分とが引出
式の新しい棚に収められている。

化セミナー開く

本学と尼崎市教育委員会と
の共催で、昨年の講演会「シ
ルクロードとワンダー」に
引き続き、今年も「尼崎市図
書館文化セミナー」が、尼崎
市立北図書館集会所で市民一
般を対象に、十一月二十二
日（金）に、第四回は十二月十三
日（金）に、谷沢一文学部
教授が「戦後社会の構造と主
潮」をテーマに講演される予
定である。

法部助教授 竹下 賢著
『法 その存在と効力』
(ミネルヴァ書房
三〇〇〇円)

法が効力をもつ根拠は何か、換
言すれば、法が正当な根拠は何
かを問う正当根拠論は、法哲学に
固有の根本問題である。戦前以
ての問題を扱った古典的著作とし
ては、恒藤恭『法的人格の理論』
尾高朝雄『実定法秩序論』あり、
後者は批判的に検討した加藤新平
の論議文がある。

尼崎市図書館文
化セミナー開く

戦後の尼崎」をテーマに講演
された。
なお、第二回は十一月二十
九日（金）に、網干善教文学
部教授が「古代史と蘇我氏」
をテーマに、第三回は十二月
六日（金）に、泉澤一文学部
教授が「茶の湯の世界」をテ
ーマに、第四回は十二月十三
日（金）に、谷沢一文学部
教授が「戦後社会の構造と主
潮」をテーマに講演される予
定である。

文学部助教授 野村幸正
『サイコロジ』
井上道雄 共著
（福村出版・一五〇〇円）

本書は認知を中心とした心理学
の入門書で、生存と認識、心理学
の目的と方法論、生存の原理、認
識の本質、環境とのかかわり、矛
盾の解決、知能と技能、文化の本
質の八章からなる。

社会学部助教授 高木 修
『心の探検隊—あなたも
心の中をのぞいてみませんか—』
（アカデミア出版会
一八〇〇円）

この日本建築の真髄を跡生時代
から明治期に至るまでの壁のつ
くりの変遷から探り、あわせて諸外
国の壁つくりとも対比して、その
特徴を明快にわかりやすく解説し
ている。とくに近世の城郭へり
の第一印象である。コンパクトだ
が、発達、人格、臨床、知覚、学
習、社会など心理学の主要領域が
みだりに掘り下げられて、新書に
なるとは、左官技術が職人芸にまで
なるとは、濃密な水準も高い。
著者は日本建築研究の第一人者で
あり、先年の桂離宮修復大修理を

工学部助教授 山田幸一著
『日本壁のはなし』
（鹿島出版会・二〇〇〇円）

この本年最終号がそれをつ
ちがための一助になること
を願ってまい。

果的な文献検索が可能となること
を銘記していただきたい。
おわりに、開館以来レファレン
ス・サービスの受付は、飛躍的に
増加しており、利用者のレファレ
ンス室に対する期待の程をうかが
うことができる。今後共、サービ
スを充実させ、このように二
次資料も数多く揃えられている。
これら二次資料と他の参考図書
を併用することによって、さらに効
果的な文献検索が可能となること
を銘記していただきたい。

文学部助教授 野村幸正
『サイコロジ』
井上道雄 共著
（福村出版・一五〇〇円）

本書は認知を中心とした心理学
の入門書で、生存と認識、心理学
の目的と方法論、生存の原理、認
識の本質、環境とのかかわり、矛
盾の解決、知能と技能、文化の本
質の八章からなる。

工学部助教授 山田幸一著
『日本壁のはなし』
（鹿島出版会・二〇〇〇円）

この本年最終号がそれをつ
ちがための一助になること
を願ってまい。

編集後記

阪神タイガースの「完全制
覇」に狂喜乱舞し、背広を着
たプロレスのスーパーヒー
ローの話に聞き入る人も
大いに結構だけれど、今の世
の中、お祭り気分にはたれる
人が少なくなっているのは悲
しいなあ、お祭り気分を思い出
えながら生きていこうと
対する誠実な想像力——こ
れこそ、百周年を目前にひか
えた関西大学に住む私たち
が、何よりもまず大切にすべ
きものではないか。